

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和6年11月29日

団体名 私市円山古墳を守る会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	綾部市の文化的、歴史的シンボルとしての私市円山古墳公園を守り、綾部市及び地域の活性化を図るとともに、地域の文化や歴史への関心を深めていただく。また、本イベントの歴史は、舞鶴若狭道の開通に伴って発見された、私市円山古墳を守ろうと開催してきたもので、今回で31回を迎える。例年3,000人を超える来場者があり、今年度においても様々な世代の多くの市民が集い、賑わいの場を創出することで地域の活性化を図る。
事業の名称	第31回私市円山古墳まつり
事業費 （市補助金）	421,575円 （200,000円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	会場の設営、イベント出演者への謝礼、宣伝広告費、消耗品他購入等
事業実施期日	令和6年11月3日（日・祝）
事業実施場所	私市円山古墳公園
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	豊里西部地区自治会（5自治会）の模擬店、豊里地区商工繁栄会の模擬店、地元野菜を販売。 また、舞台においては、地元の高校生のブラスバンド、舞踊、太鼓、中丹文化事業団のふれあいコンサート等による発表の他、古代の雅を味わうための「野点」を実施。 キッチンカーも招致する等、工夫を凝らし集客の向上を図った。 【来場者：約2,600人】
補助金の効果（成果） （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	当日は多くの来場者により賑わい、このイベントをとおして、市民同士および西部地区住民との交流の場となり地域の活性化が生まれました。また私市円山古墳の説明とパンフレットの配布を行い、市民の私市円山古墳への関心が深まる機会となりました。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和6年11月29日
団体名 私市円山古墳を守る会
(単位：円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	200,000	200,000	@500円×136戸 祝儀、出展料
	会 費	67,500	68,000	
	雑収入	75,000	36,000	
	自己資金	151,700	117,575	
支出の部	合 計	494,200	421,575	
	区 分	予算額	支出済額	明 細
	出演者謝礼	136,000	110,000	出演者8団体、司会1人
	委託費	162,000	180,000	音響設備委託76,000円 舞台設営等104,000円
	雑費	135,000	97,162	ビールケース借用3,000円、 クリーニング代31,995円、 保険料7,500円、レンタカー30,320円、会場 設置資材等24,347円
	宣伝費	41,000	17,424	市民新聞広告代
	会議費	10,000	10,761	会議室使用代等
差 引	事務費	10,000	6,228	道路使用許可申請手数料2,040円、郵便料 2,418円、ふれあい移動コンサート申込料 1,000円、振込手数料770円
	合 計	494,200	421,575	
差 引		0	0	